



立入が丘小学校だより



No. 2

「魔の7歳」 子どもを交通事故から守ろう

新年度がスタートして一か月近くが経ちました。1年生歓迎集会も終わり、学校生活が軌道に乗ってきました。子どもたちからは、進学・進級の喜びを胸に張り切った様子がかげえまます。明日からはGW後半の4連休です。ほっこりとしたひと時をご家族で過ごしていただけたらと思います。

さて、先日、出勤途中の車中で流れていたラジオから、「魔の7歳」の話が聞こえてきました。みなさんは、この言葉をご存知でしょうか。

7歳児は交通事故に遭いやすい傾向があり、そのリスクの高さから「魔の7歳」と呼ばれているそうです。7歳という年齢は、小学校に入学して行動範囲が広がる小学1年生にあたります。学校の登下校も含めて、子どもだけで外を歩く機会が増えることから、交通ルールや交通事故に遭わないためのお話をされる家庭も多いかと思ひます。学校でも毎年5月に1年生対象に警察署の方を招いての交通安全教室を行っています。にもかかわらず、7歳の交通事故が多いのはなぜなのでしょう。

ラジオ番組での話によると、まず1つ目の原因が、子どもの視野は大人に比べて狭いということでした。大人の視野が左右150度、上下120度であるのに対し、7歳の子どもの視野は左右90度、上下70度で大人の約3分の2程度しかありません。大人の視野に自動車やバイクが入っていても、子どもには見えていないことがあるそうです。

次に挙げられる原因は、子どもは大人よりも好奇心旺盛で注意力が散漫だということでした。家庭や学校で交通ルールについて教えられて頭ではわかっているにもかかわらず、何か気になるものがあると、それに気を取られ、他のものが見えなくなってしまうことがあります。「1回言ったからわかっているだろう」とは考えずに、具体的な言葉で繰り返し教えていかなければならないということでした。

これら7歳の特性を理解したうえで子どもに接すると、交通安全の指導の仕方も変わってきます。運転者としての子どもへの配慮の仕方も変わってきます。交通事故のない毎日へ、大人も子どもも一緒になって取組を進めていけたらと思います。ご協力をよろしくお願いしします。

学校ボランティア（守山市子ども応援団）を募集します！

立入が丘小学校では、地域の方々のお力をお借りして、ともに歩む学校作りを目指しています。そこで、学校花壇の整備や草刈り、児童の掃除時間の手伝い、家庭科のミシン実習や調理実習の補助、昼休みの遊びや活動補助等、環境整備や児童の学校生活のお手伝いをしていただける方を募集しています。賛同していただける方がおられましたら、吉身会館でお申し込みください。「守山市子ども応援団ボランティア」へのご協力をよろしくお願いしします。

